

タマネギ秋まき直播栽培における ペンディメタリン乳剤を用いた雑草防除体系

福島県農業総合センター 作物園芸部 野菜科

- 1 部門名 野菜－タマネギ－雑草防除
- 2 担当者名 八木田靖司
- 3 要旨

タマネギ直播栽培では除草剤の登録が少ないが、2021年にペンディメタリン乳剤が適用拡大となった。そこで、慣行の雑草防除体系でタマネギ2葉期に行っていた中耕及びプロスルホカルブ乳剤処理に替えてペンディメタリン乳剤による処理を検討した。その結果、タマネギ2葉期にペンディメタリン乳剤を用いると慣行の雑草防除体系では必須であった越冬前の中耕を省略できることを明らかにした（図1）。

- (1) タマネギ2葉期にペンディメタリン乳剤を用いた体系処理では慣行と同程度の抑草効果が得られ（図2）、規格内収量も慣行と同程度となる（データ省略）。
- (2) ペンディメタリン乳剤はノボロギク等のキク科雑草に効果が低いため、それらが優占するほ場ではタマネギ2葉期に中耕及びプロスルホカルブ乳剤処理を行う。

月	9月	10月	11月	12月～2月	3月	4月	5月	6月
主な作業	播種	(タマネギ2葉期) 防除、除草			越冬期間	(越冬後) 追肥	防除、除草	収穫・乾燥
2葉期ペンディメタリン乳剤処理体系	シアナジン水和剤 ^z	ペンディメタリン乳剤 ^y			中耕		プロスルホカルブ乳剤 ^x またはIPC乳剤 ^w	
慣行防除体系	シアナジン水和剤	中耕	プロスルホカルブ乳剤	中耕		プロスルホカルブ乳剤またはIPC乳剤		

^z シアナジン水和剤は播種後出芽前（雑草発生前）に使用する。
^y ペンディメタリン乳剤は播種後～本葉2葉期（雑草発生前）に使用する。
^x プロスルホカルブ乳剤は中耕後（雑草発生前）、ただし収穫45日前までに使用する。
^w IPC乳剤は中耕後、ただし収穫30日前までに使用する。

図1 タマネギ秋まき直播栽培のペンディメタリン乳剤を用いた雑草防除体系（2021年、郡山）

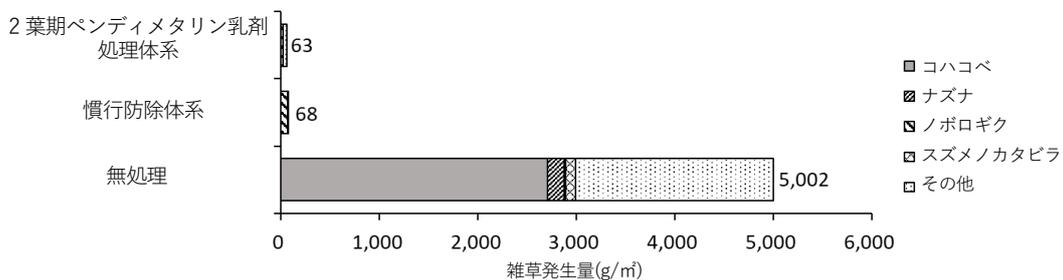


図2 体系処理による収穫時期の雑草発生量（2021年、郡山）

4 成果を得た課題名

- (1) 研究期間 令和3～7年度
- (2) 研究課題名 先端技術を活用した施設野菜・畑作物の省力高収益栽培・出荷技術の確立
[農林水産分野の先端技術展開事業 (JPJ009997)]

5 主な参考文献・資料

- (1) タマネギ秋まき直播栽培における雑草の防除体系（令和3年度 参考となる成果）